

サークル・サークル

Vol.26

市内で活動、活躍する
団体・サークル・チーム
などを紹介



寺田喜劇団

メンバー30人(12月31日現在)
代表:工藤 忠義=寺田=

◎結成何年目?結成のきっかけは?

結成16年目。平成15年の第5回てらだ公民館まつりで「おしん」のパロディを演じたのが初めてでした。結成前は小学校のPTAや婦人会の出し物を裏方で手伝っていたのですが、いっそのこと自分たちで演じてみようという話になり、寺田喜劇団を結成しました。

◎活動の内容は?

年1回開かれる寺田コミセンまつりのために活動しています。寺田喜劇団を見に来てくれる人を「笑わせたい」。その一心で活動しています。また最近では、JA女性部や田頭コミセンの曙大



昨年講演した『ケッサク「仕事人」主水鰻を喰う』の一場面

学から依頼を受け、出張公演もしました。

◎活動の魅力は?

「観客の笑顔」が一番の魅力です。みんなで取った笑いもいいですが、突然のアドリブやこっそり仕込んだ小ネタで笑いが取れた時は最高です。

◎今後の展開は?

寺田コミセンの舞台が小さいので、いつかもっと大きな舞台で公演することができたら、楽しいのだろうと思っています。

◎活動日時・場所は?

3月開催の寺田コミセンまつりに合わせ、講演1カ月前から寺田コミセンで稽古しています。

■問い合わせ先 入団希望は団長・工藤(携帯090-3750-3980)まで、寺田コミセンまつりは同センター(☎77-2024)まで。

3月9、10日に寺田コミセンまつりが開催されます。寺田喜劇団は10日(日)午後1時からの公演予定。団長いわく「最近時代劇が多いので、今回は現代劇か!」内容は来てみてのお楽しみです。ぜひ見に来てください。

初めて八幡平市を訪れたのは29年の秋、さすらい合宿に参加するためでした。紅葉シーズンということで、彩り豊かな松川渓谷や黄色一色に染まる安比高原のブナ二次林を見に行き、息を飲むほど美しい景色に取り込まれました。それから地域おこし協力隊の募集があることを知り、応募して現在に至ります。



今月の担当
三村 恵さん

地域おこし協力隊だより

Vol.57

はじめまして。10月から地域おこし協力隊員として活動している千葉県野田市出身の三村恵です。電機メーカーで10年ほどシステムエンジニアを勤め、退社後はフリーに転身。動画制作・ウェブサイト制作を中心にIT関連の仕事をしています。

秋の景色もよかったです。ですが、味わいたかったのは雪景色。早速、安比高原スキー場に行って初滑りを堪能してきました。パウダースノーを満喫できる環境が身近にあるというところは「素晴らしい」の一言。山頂ではキリリと冷えた空気を感じ、澄んだ青空がとて近くて、空に吸い込まれるような感覚でした。

とりあえずの目標は、冬を楽しみながら、動画を撮り、移住者サイトから情報を発信していくことです。取材撮影の他、ドローン空撮・セミナーなども行っていく予定です。で、見かけた際には気軽に声を掛けください。



東京の事業者・フリーランスへ八幡平市への移住と魅力について紹介してきました